

研究協力についての説明書

(研究説明書)

1. **研究課題名：** 発達障害者における身体感覚の発達過程と認知特性の解明
2. **研究対象者として選定された理由：** 本研究では、実験参加者として、幼児・児童（4歳以上）から成人までの年齢群の方を広く対象としています。

上記年齢の方のうち、

- ・診断、検査などにより、発達障害的な特性があることが明らかになっている方
- ・発達障害の特性が認められない定型発達の方（健常者）を対象にします。

てんかんなどの特殊な神経疾患にかかった経験がなく、日常的に通院をされていない健康な方、感覚過敏の症状のない方、視覚・聴覚・触覚に特に問題がない方、著しい運動障害のない方のうち、ご参加いただける方からのご協力をお願いしております。研究協力への参加には、説明内容を充分にご理解いただいた上で、同意をいただきます。説明の内容に不明な点があれば、ご遠慮なくご質問ください。研究参加への同意を書面で確認の上、国立障害者リハビリテーションセンター研究所の研究担当者が実験を実施します。

3. **研究目的、意義、方法及び期間：** 国立障害者リハビリテーションセンター研究所の脳機能系障害研究部・発達障害研究室では、自閉症スペクトラム障害などの発達障害にとともなう、認知特性、感覚運動特性の変調に関して研究を行っています。発達障害のある方は、日常場面において、運動や書字が苦手といった、動作制御や模倣運動の障害が知られています。身体感覚の把握や制御には、自身や他人の身体を空間的に対応づけて把握することも重要な要素になります。本研究では、心理実験、脳イメージング実験を通して基礎データを収集し、そのデータをもとに、外部環境から与えられる空間的な位置情報と身体感覚との対応付けや、視覚や触覚といった感覚情報と身体感覚との連合付けを様々に操作することで情報統合にどんな認知的メカニズムが関わるのかを行動計測によるデータから解明することを目指しています。得られた研究結果を教育、就労といった場での具体的な困難を解決するための支援方法として活用することを目指し、自閉症者本人と家族の生活の質、さらに当事者と関係者を取り巻く社会の福祉の向上に貢献することが、研究の目的です。

研究期間は、平成27年8月から平成30年3月までを予定しております。

4. **研究協力依頼内容：**
 - 実験時間は説明や休憩も含めて90～100分程度です。適宜休憩をとりながら1回あたり10～15分の実験を数回（最大所要時間約60分）、質問紙の回答（所要時間約15分）を行っていただきます。
 - 謝金として3,980円（税抜き後約3500円）が支払われます。支払い方法は銀行振込です。

- まず本で行う研究課題の説明を行います。必要に応じて課題の練習も行っていただきます。なるべくリラックスした状態で椅子に座ってください。
- 主な課題は、「モニタに提示される他者の身体について、左右上下部位を判別する」こと、もしくは「自分の身体部位を指示通りに正しく素早く動かす」ことです。課題の教示のために映像以外にも音声や触覚振動を用いることがありますが、日常的に使用されている音声再生機器の音声や携帯電話の振動などと同様の質や強度であるため、危険な刺激ではありません。実験中はモニタを見ながら、キーボードあるいは口頭により回答を求め、回答速度や精度を計測します。また、動作を録画することでビデオ解析を行います。動作解析用のシステムは赤外線とカメラを用いた計測システムで、目や身体に障害を与えるような危険な刺激は出ておりません。「目が疲れたり、違和感がある」場合はすぐにおっしゃってください。
- 1ブロック 10～15 分の実験を数回行っていただきます（所要時間：最大で計 60 分）。実験と実験の間で必要に応じて休憩をとります。実験中であっても、疲れてきた、眠くなってきた場合には、必ず申し出てください。そのつど休憩をとっていただきます（あるいは実験を中止します）。
- 性格特性や利き手を調べるための質問に回答していただきます。当てはまるものに○をつけていただくものです（所要時間：約 15 分）。
- 本実験の参加者となることは自由意思によるものであり、実験遂行に関して、実験者の説明に納得がいかない場合や、身体的あるいは精神的に不調をきたした場合は、参加者は、いつでも実験を取りやめることができます。その場合もいかなる不利益を受けることはありません。
- 実験装置、課題について事前に説明します。この説明で、参加者の理解と参加の承諾を得られ、かつ実験前の質問事項に対する回答に問題ないと実験責任者が判断した場合のみ実験を開始します。
- 実験に関して、不安を感じる点、手順を理解できない点があれば、実験途中でも実験担当者に質問してかまいません。

5. 予想される協力者の不利益及びその対応

本研究で使用する視覚、聴覚、触覚刺激は、いずれも市販の PC や音楽プレイヤーや携帯電話の振動等と同等の強度の範囲であり、身体への危険はありません。実験中、同じ姿勢を取りつづけることによる疲労や不快感が考えられます。また体調によっては感覚刺激自体が辛く感じられることがあります。その場合は、我慢せずに速やかに実験担当者に教えてください。適宜休憩をとるか、刺激強度・姿勢の調整をいたしますし、実験を中止させていただくこともございます。

6. 個人情報管理方法（匿名化など）

プライバシーの保護・機密保持については厳重に取り扱います。収集したデータは研究以外の目的に使用しません。実験結果の学会や学術雑誌への発表において被験者の名前やその他の属性

が記載されることはありません。

7. 当該研究の資金源、起こりうる利害の衝突（研究結果に関する特許権の利害等も含む。）及び研究者等の関連組織（研究者の属する実施機関、研究班等）とその関わり

この研究は、文部科学省科研費：新学術領域研究，日本学術振興会科研費：挑戦的萌芽研究，センター運営費および国立障害者リハビリテーションセンターの運営費を用いて，研究所（脳機能系障害研究部 発達障害研究室）にて実施します。起こりうる利害の衝突はありません。

8. 当該研究に参加することにより期待される利益、起こりうる危険及び必然的に伴う不快な状態並びにその対応

本研究は，発達障害の認知的基盤を明らかにすることを通じて，将来的な医療，福祉の向上に資することを目的に実施しております。今回の実験は，治療面などの直接的な利益はありませんが，希望があれば測定の結果をお知らせします。また発達障害の認知的基盤を明らかにすることで，将来的な支援や情報提示方法の開発に貢献できる可能性があります。実験機器そのものに身体への危険はありません。課題への集中や，同じ姿勢をとり続けることで疲労や不快感を生じることがあるかもしれませんが，耐え難い場合には実験を中止いたします。

9. 個人情報に関するお問い合わせ先：

質問・問合せ・ご意見がある場合は，下記までお申し出下さい。

国立障害者リハビリテーションセンター
企画・情報部 企画課長 福田 克広
〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1
TEL：04-2995-3100（内線2140），FAX：04-2995-3661
苦情申し出先アドレス：kikakurinri@rehab.go.jp

10. その他の確認事項

- ① 研究に参加することに同意しなくてもなんら不利益をうけることはありません。また一旦参加することに同意した場合でも，その同意はいつでも撤回することができ，実験中でも自由に取りやめることが可能です。取りやめた場合でも規定額の謝金は支払われます。
- ② ご希望があれば，研究の結果明らかになった個人データの解析結果をご本人またはご家族に開示し説明をいたします。
- ③ 本研究の成果は，学会，報告会，論文等において公表されることがありますが，すべて個人を特定できない形で統計的に処理されます。いずれの場合においても，参加者の個人情報が外部に公表されることは一切ありません。
- ④ 研究内容についての質問・問い合わせ・ご意見がある場合は下記の研究責任者までお申し出ください。

国立障害者リハビリテーションセンター研究所
脳機能系障害研究部・発達障害研究室 室長 和田 真
〒352-8558 埼玉県所沢市並木4-1

TEL : 04-2995-3100 (内線 2586), FAX : 04-2995-3132

E-mail アドレス : wada-makoto@rehab.go.jp

1 1. 説明の年月日、説明者の所属・氏名

説明年月日 : 平成 年 月 日

説明者 : _____

(国立障害者リハビリテーションセンター研究所 脳機能系障害研究部 発達障害研究室)

1 2. 説明を受けた者 (本人またはこれに準ずる者) の住所、氏名、本人との続柄

氏名 : _____ (続柄 : _____)

住所 : _____